

多摩市都市計画マスタープラン 改定都市計画マスタープランの構成

**現行都市マス**

「まちづくりの基本方針」 + 「地域別まちづくりの方針」

**まちづくりの基本方針**  
まちの魅力を活かす観点やまちづくりの課題を解決する観点から設定。

**まちづくりの将来像**  
安全で活気と魅力あふれる都市（まち） 多摩

**将来都市構造**

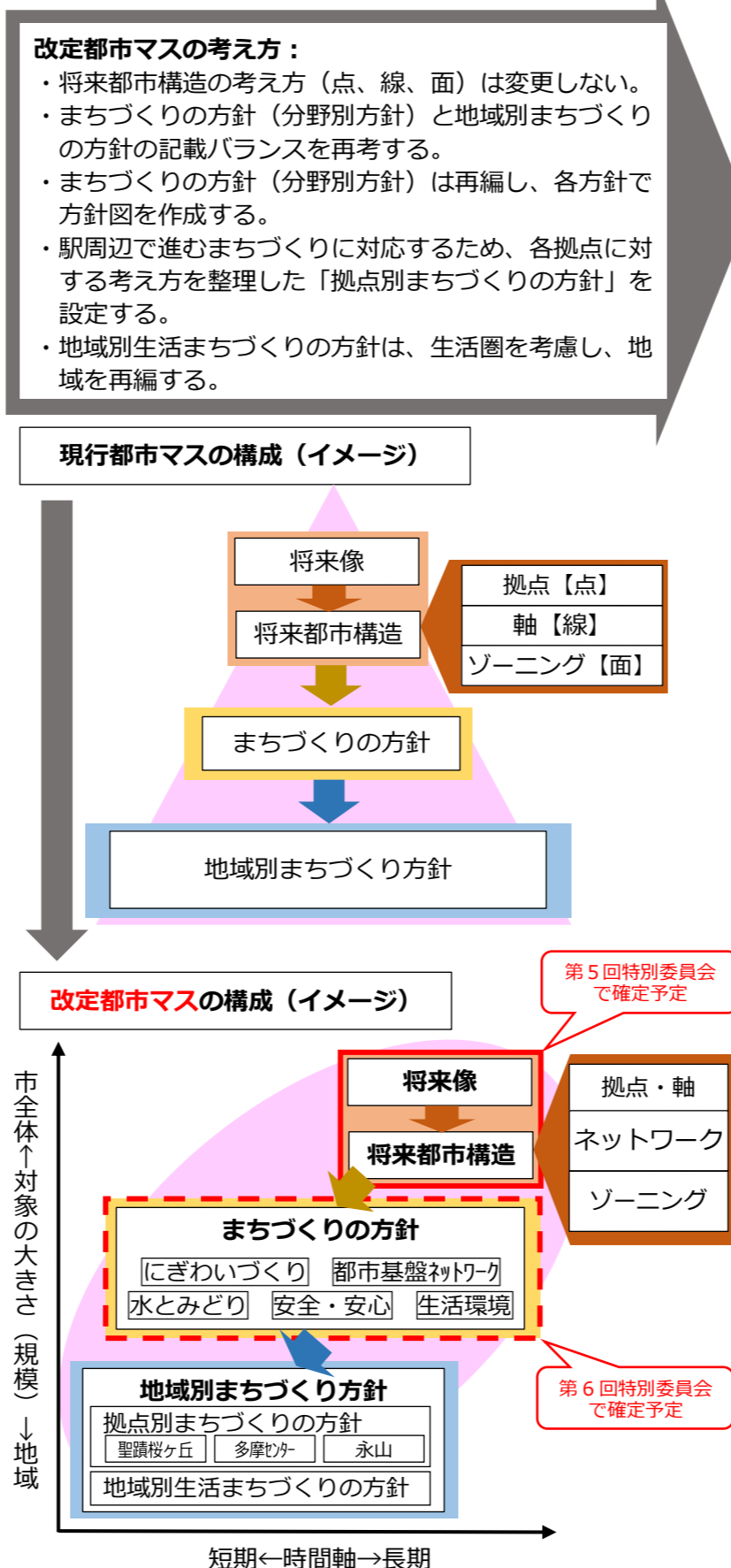
拠点【点】	①広域拠点 (多摩センター駅周辺、聖蹟桜ヶ丘駅周辺) ②連携拠点(永山駅周辺、唐木田駅周辺) ③みどりの拠点(日野市境周辺、東寺方小学校周辺、原峰公園及び市役所周辺、都立桜ヶ丘公園周辺、稲城市境周辺、中沢・唐木田周辺)
軸【線】	①広域幹線道路のネットワーク ②補助幹線道路のネットワーク ③鉄道・モノレールのネットワーク ④みどりのネットワーク
ゾーニング【面】	・広域型商業・業務地 ・沿道型商業・業務地 ・低層住宅地 ・複合型商業・業務地 ・産業・業務地 ・中低層住宅地

**まちづくりの方針**

- 都市基盤の整備と維持管理の方針
- にぎわいづくり（商業・産業・業務）の方針
- 水とみどりの都市環境づくりの方針
- 防災まちづくりの方針
- 交通ネットワーク充実の方針
- 住宅・住環境の保全・整備の方針
- 景観づくりの方針
- 福祉のまちづくりの方針

**地域別まちづくりの方針**  
まちづくりの基本方針に示した基本的な方向性を踏まえて、地域単位でより具体的な都市計画やまちづくりを示す観点から設定

・第1地域	・第2地域	・第3地域
・第4地域	・第5地域	・第6地域
・第7地域	・第8地域	



**改定都市マス**

「まちづくりの基本方針」 + 「拠点別・地域別生活まちづくりの方針」

**まちづくりの基本方針**  
まちづくりの将来像を具現化する、将来の多摩市の姿に向けたまちづくりの方針。これまでの都市の成り立ちやこれからの都市の変化を踏まえて設定。

**まちづくりの将来像（案）** ※第4回特別委員会で検討済、第5回特別委員会で確定予定  
にぎわいを育み 安全に住み続けられる都市 多摩

**将来都市構造** ※第4回特別委員会で検討済、第5回特別委員会で確定予定

- ・将来像を実現するための、目指すべき都市の空間構成を示すもの。
- ・拠点・軸、ネットワーク、ゾーニングの3つの要素から構成。
- ・東京都や周辺都市との連携、多摩市の役割なども踏まえた広域的な視点。

拠点・軸	●鉄道駅を中心とした、都市機能が集積する「拠点」 ⇒聖蹟桜ヶ丘駅周辺、多摩センター駅周辺、永山駅周辺 ●みどりが集積する「拠点」 ●都市拠点間をつなぐ多摩ニュータウン通り「軸」と産業・業務、商業機能の誘致・育成を図る南多摩尾根幹線沿道「軸」
ネットワーク	●市内外の人・モノの交流を促し、都市活動を支え、拠点や地域、都市機能を結ぶ「ネットワーク」 ⇒広域幹線道路、鉄軌道（鉄道、モノレール）など ●みどりの「拠点」をつなぎ、形成する「ネットワーク」
ゾーニング	●市街地の特性に応じた、土地利用の区域

**まちづくりの方針** ※第5回特別委員会で検討、第6回特別委員会で確定予定

- ・将来都市構造を実現する観点で再整理

にぎわいづくりの方針	【拠点】【土地利用】
都市基盤ネットワークの方針	【交通】【道路】【インフラ維持管理】
水とみどりの方針	【脱炭素まちづくり】【水とみどり】
安全・安心の方針	【防災】【事前復興】【バリアフリー】【防犯】
生活環境の方針	【住宅地】【景観】【地域資源】

**地域別まちづくりの方針**

- ・まちづくりの方針との整合を図りつつ、3駅の都市拠点に関する方針と、生活圏を考慮し5地域に再編した地域単位のまちづくりの方針を設定

拠点別まちづくりの方針：聖蹟桜ヶ丘 多摩センター 永山

- ・拠点形成の実現のため、プロジェクトが進む駅に関して方針を設定

地域別生活まちづくりの方針：5地域

- ・生活圏を考慮した、地域コミュニティ単位でのまちづくりの方針